

令和5年度 北区組織目標

組織名	北区	区長	丸山 寛
組織の目的・方向性	区民と作り上げた北区区ビジョンまちづくり計画に掲げる目指す区のすがたの実現に向け、区の魅力をさらに発信し、より良いまちづくりを進めていきます。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	<ul style="list-style-type: none"> 新潟市に住み続けたい市民の割合 将来世代のことも大切に持続可能なまちづくりが進んでいると思う市民の割合 地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数 		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

北区組織目標

「潟と大河と日本海、水の恵みに生まれ、人と人がつながり、心豊かに支え合い、発展するまち」を区の将来像に掲げ、北区の強みである自然環境の魅力、若者の発想、民間企業の専門的知見を生かし、多様な団体と連携して住み続けたいまちづくりに取り組みます。

〔重点目標〕

- 1 水辺の保全活動、自然観察会を通じてふるさとへの愛着を育むとともに、その魅力をさらに発信し、交流人口の拡大につとめます。
- 2 大学生など若者の柔軟な発想や、多くの団体との連携により生まれるアイデアを生かし、地域商業のにぎわいづくりや空き店舗活用などに取り組みます。
- 3 地域の大学や医療機関との連携により、高齢化への対応を進めるとともに、地域で支えあう子育ての取組み支援につとめます。
- 4 地域での避難所運営体制立ち上げや避難所運営訓練のサポートに取組み、安心・安全で住みよいまちづくりに取り組みます。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数	達成数
	今後の方向性		

組織目標管理シート

年度	令和5年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあると回答した児童生徒の割合 ・新潟市の生活環境における大気・水・音などの状況が良好だと思ふ市民の割合 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数 ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることができると思ふ高齢者の割合 ・新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合 ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合	作成日	令和5年4月1日
組織名(部)	北区役所	組織名 (準部・課・機関名)				評価日	

No.	組織目標		指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
	総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)	概要				
1	自然環境を環境教育や自然体験の場、地域づくりの場、ふれあいと憩いの場として活用します。	(北区区ビジョン)	取組み地区数(地区)	3		水辺ふるさとづくり事業	ひょうたん池や十二湯等で自然観察会や保全活動等を実施し、自然環境についてのふるさとへの誇りと愛着を育むとともに、次世代の担い手の育成を図ります。			
2	地域コミュニティ協議会などの地域団体と連携・協働しながら、学校での総合学習や部活動を推進するほか、地域における課題の解決を支援します。	政策5-3-①	官民協働によるアキグミ植栽活動に参加した人数	200人以上		松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり事業	松浜海岸の砂浜を官民協働(地元小学校・住民・国土交通省・新潟市)により、アキグミの苗木を植栽し緑化することにより環境保全と飛砂対策に取り組めます。			
3	地域商業活性化に向けた取り組みを行い、新規誘客及び賑わいの場創出を目指します。	政策8-1-④	地域ごとのイベント等の実施(回)	3		地域商業賑わい創出プロジェクト	うまいもん市場やこらっせ松浜市といった露天市場活性化のためのイベントを開催するほか、北区役所庁舎を活用したイベントを官民協働で開催し、地域の賑わいを創出します。			
4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくりを推進するため、高齢化の進展に伴い、増加が予想される認知症患者を早期に発見し、早期治療につなげます。	区ビジョン	もの忘れ検診の受診者数(人)	1,000人 H29年度数値		北区もの忘れ検診事業(特色ある区づくり事業)	北区の65歳以上の希望者に、国保特定健康診査・後期高齢者健康診査を受診の際に「もの忘れ検診」を実施し、認知機能の低下が疑われる人に対して適切な支援サービスにつなげます。			
5	多様な家族形態があることを前提に、地域の様々な人や団体が子供と子育て家庭への支援に参画できるよう、地域における子どもたちの見守りと情報提供を継続するとともに、子育て家庭への支援を推進します。	政策4-3-③	支援講座の実施回数(回)	28回		・北区子育て応援事業 ・スクスクきたっこプロジェクト ・LINEによる子育て応援情報配信事業	・子育て支援講座や多胎児を妊娠中の人やその家族向けの交流会の開催、地域団体への子育て支援講座の講師派遣により、子育てを支援します。 ・地域団体での多世代交流カフェや子育て応援イベントの開催により子育てを支える地域の実現、子どもがすこやかに心豊かに過ごし成長発達できるような地域づくりの推進を図ります。 ・SNSにより北区の子育て情報の配信をします。			
6	避難スペースの確保に一層努めるとともに、発災当初から円滑に避難所を開設・運営できるよう、地域住民、施設管理者、行政職員の3者連携のもと、平時からの避難所ごとの運営組織の立ち上げを推進します。	政策13-1-②	避難所運営組織の立ち上げ数(避難所数)	2避難所 (累計13避難所)		「高めよう互近助力」地域でつくる避難生活運営体制事業	全避難所での運営体制構築を目指し、8地区ごとにモデルとなる避難所運営組織の立ち上げを支援します。			